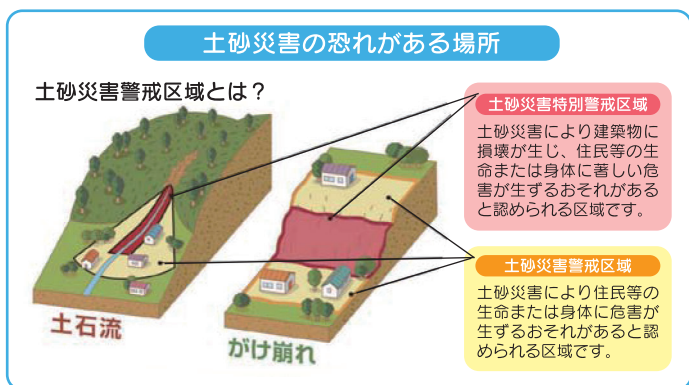


土砂災害に備えよう

各務原市内には、がけ崩れや土石流の被害が発生するおそれのある「土砂災害特別警戒区域」「土砂災害警戒区域」があります。土砂災害から命を守るためには、気象情報に注意するとともに、異変を感じたら早めに避難することが大切です。



●土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン) 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)とは

岐阜県では、土砂災害防止法に基づき、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域の指定、公表を進めています。市内の指定区域は、22ページの「土砂災害ハザードマップ(全域版)」でご確認ください。



土砂災害の種類と前兆現象

下記のような土砂災害の前兆現象が見られたら、早めに避難しましょう。

災害発生前の時間の目安	土砂災害の種類と前兆現象	
	土石流 土砂を含む水が河川や溪流を一気に流下する現象 	がけ崩れ 斜面上の土砂が瞬時に崩落する現象 
災害発生2～3時間前に多い現象	・流水の異常な濁りが見られる。	・湧水量の増加が見られる。 ・がけの表面を水が流れている。
災害発生1～2時間前に多い現象	・溪流内で転石の音がする。 ・流木が発生している。	・小石がパラパラ落下している。 ・新たな湧水が発生している。 ・湧水に濁りが見られる。
災害発生直前に多い現象	・土臭いにおいがする。 ・地鳴りがする。 ・流水の急激な濁りが見られる。 ・溪流の水位が激減している。	・湧水が止まる。 ・斜面に亀裂、変形が発生している。 ・小石がボロボロ落下している。 ・地鳴りがする。

※土石流、がけ崩れの他に「地すべり」(ゆるやかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい面が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象)がありますが、各務原市では該当する危険区域はありません。

土砂災害から身を守るポイント

長雨や豪雨に注意

1時間に20ミリ以上又は降り始めからの降雨量が100ミリ以上になった時は土砂災害のおそれがあるので警戒しましょう。



早めに避難

「土砂災害警戒情報」が発表されたり、土砂災害の前兆現象が見られたら、速やかに避難しましょう。



土石流に直面したときの逃げ方

土石流のスピードは、時速20～40キロメートルととても速いので、土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。



「土砂災害警戒情報」とは？

「土砂災害警戒情報」は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、岐阜県と岐阜地方気象台が共同で発表する情報で、避難の判断材料となる重要な情報です。